

# JAL 愛媛争議団を支える会

## ニュース



勝利解決の日まで  
たたかう

発行：JAL 不当解雇とたたかう愛媛争議団を支える会  
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内  
松山市三番町8-10-2

## 私も 応援します

### 9年余りの「労災認定闘争」から見た不条理な現実

「医療法人への安全配慮義務違反・損害賠償請求」争議当事者

寶田 都子

2012年1月、再三の要請を受け医療法人へ看護師長として転職したことが、平凡に生きてきた家族の生活を一変させた。

看護師不足の常態化による昼夜を分らない長時間労働、課せられた95%以上の入所者確保のノルマ、そのノルマの達成が困難を極めたことから院長や事務長によって日々続いた苛烈なパワハラ、突然の解雇通告等により、僅か14ヵ月足らずで、うつ病や重度難聴等の体調不良をきたした。

医療法人での一次被害に加え、救済を求めた労基署で担当者から「生きていて労災申請は図々しい」という暴言、「証拠は出さなく

てよい。こちらで調べる。」という故意に悪意のある誤った説明をされた二次被害。この二つの被害により、行政・司法と9年余りの長きに亘り病を抱えながら苦しい闘争の日々を送らざるを得なくなり今に至る。

労災申請には、被災当事者・遺族が「仕事が原因」という立証責任を負う過酷で高いハードルがある。そのハードルを更に高くする要因は、加害者側が「労災隠し」の為に厳しいかん口令を敷き、証拠・証言の隠蔽や改ざんを行うことにある。行政も司法も、この実状を認識しながら、「労災認定阻止」という利害が一致する加害者

側に有利な判断をする。

昨年度「精神障害」の労災認定数は増加傾向だが、労災申請を行うのは発生事案の10分の1以下、更に労災認定されるのはその3分の1だ。被災をしても泣き寝入りをするのが圧倒的に多く、私のように声を上げ闘う事案は氷山の一角でしかない。

今後は時効が迫る「医療法人への安全配慮義務違反や損害賠償請求」の争議に進む。

穏やかな老後はまだ先になるが、JHUと「愛媛争議団を支える会」の皆さまの熱い闘いに習い、しっかりと前に進みたい。

国鉄四国トレインズと争議団（11.3JAL争議支援愛媛集会）



結成10年

「愛媛原告を支える会」から

「愛媛争議団を支える会」へ

JAL被解雇者労働組合

松山市在住 林 惠美

11月3日、「JAL争議勝利解決に向けさらに闘いをすすめます」集会在教育会館で開かれた。文化の日で他の取り組みが多々あるにもかかわらず70名近い支援者が参加して下さり励まされた。国鉄四国トレインズはこの

日に合わせて「あなたと一緒に」という新曲を披露してくれた。彼らの人柄を表わすかのように優しい曲調で癒される。争議は大晦日で12年になるが愛媛で支える会が結成されたのは2012年11月23日。それか

ら丸10年が経った。節目の集会は奇しくもJAL内2労組が「業務委託」提案を受け入れ争議を終結、片や私達JHUが真の解決を求めて闘いを強化、再構築させる決意表明の場となった。（裏面に続く）

11.3 JAL 争議支援愛媛集会



愛媛支える会は表題のように名称を変更し、争議団はCCUが終結したため3名から2名となった。

2010年大晦日に強行された解雇自由の社会に先鞭をつけるために行われた理不尽極まりない解雇を正すために故郷で闘いを始めて12年。JALに入社し、御用組合から第一組合（客室乗務員組合）に加入して以来、組合潰しの攻撃と闘い続けた経験をもとに集大成の闘いをしようとして決意して故郷へ戻ってきた。当時全く見ず知らずだった皆さんがこれほど長く、強く、支援を続けて下さっている事に感謝は尽きない。

帰郷した当時、解雇されて知った日本社会の労働者の実態に愕然とした。理不尽な解雇の横行、それに反撃する労働戦線はと言えば切れ切れのままだ。この力関係では私達が解雇される

講演する山口宏弥 JHU 委員長



はずだ。欧州にあるような解雇規制法の制定など程遠いと痛感した。

あれから10年余り、果たして私達の闘いは労働戦線を繋ぐことの役に立っているのだろうか？労働者の連帯をもっと広げたい。雇用破壊は社会の崩壊に繋がる。それは戦争への道に繋がる。労働者の権利を守ることには「空の安全」だけでなく「社会の安全」を守ることに繋がる。勝利するまで闘う翼をもっと大きく広げて前へ進みたい！皆さまの更なるご支援を心よりお願い申し上げます。



新婦人から争議団へ花束贈呈

JAL 青空チャンネル YouTubeで配信中



チャンネル登録をお願いします。



青空チャンネル視聴お願いします

11・3集会後の市駅前宣伝



「JAL愛媛原告を支える会」結成10年の節目に「JAL愛媛争議団を支える会」に改称し、勝利解決にむけ力を尽くしてまいります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

事務局長 重見幸春